

## 7 金融

### (1) 金融機関預貸残高

県内金融機関(銀行、第2地銀、信用金庫・信用組合)の平成16年末における預金残高の総額は、6兆952億円となり、前年末に比べ0.2%増加し2年連続で前年を上回った(図80)。

四半期別にみると(図81)、13年第4半期以降前年を下回る動きが続いたものの、15年第4半期には9期振りに前年を上回り、預金流出の動きに歯止めがかかった。また、平成16年は第1、2、3、4半期で前年を下回ったものの、第4半期には前年を上回った。

図80 金融機関預金残高(前年比・寄与度)

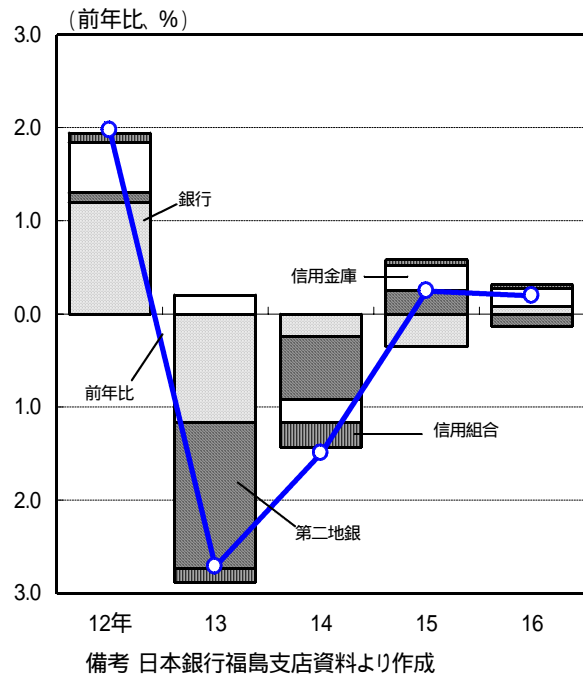
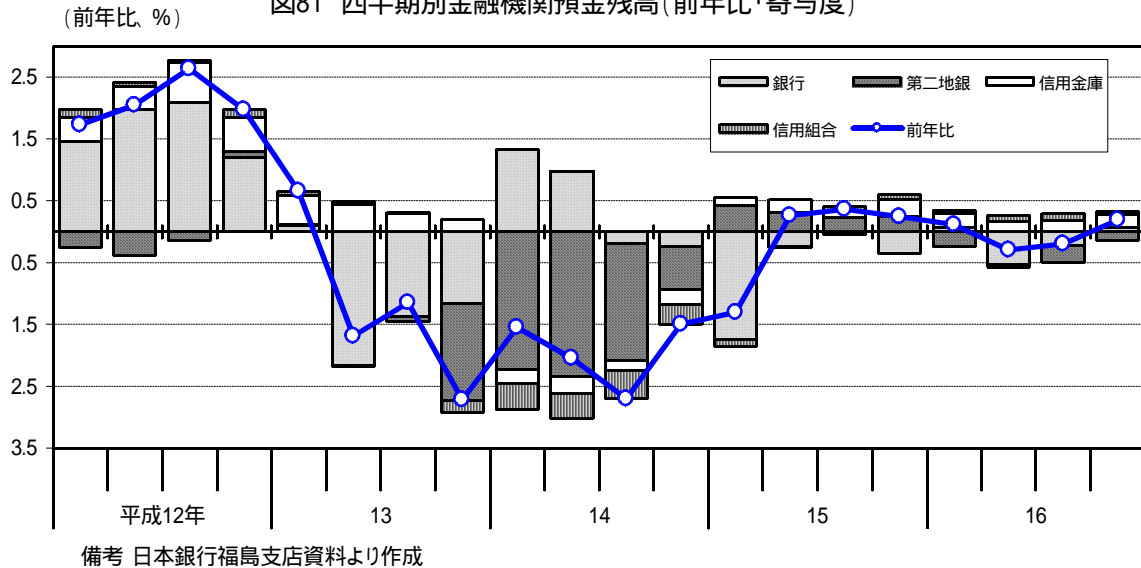


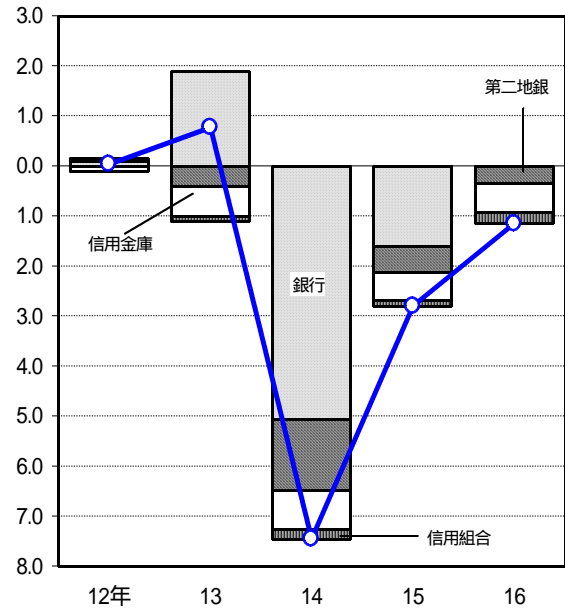
図81 四半期別金融機関預金残高(前年比・寄与度)



一方、平成16年末の貸出残高は個人向け住宅ローンが堅調に推移したものの、法人向け資金需要が伸び悩み、年末値で総額は3兆8488億円となり、前年末に比べ1.2%減少し3年連続で前年を下回った(図82)。

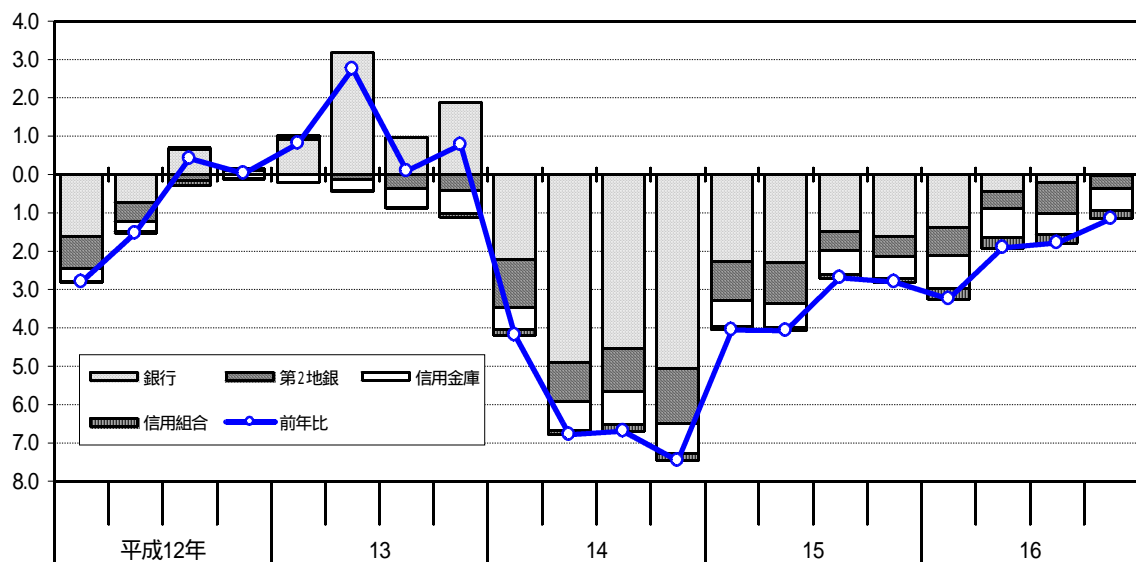
四半期別にみると(図83)、14年第4半期から12期連続で前年を下回る動きが続いている。

図82 金融機関貸出残高(前年比・寄与度)  
(前年比、%)



備考 日本銀行福島支店資料より作成

図83 四半期別金融機関貸出残高(前年比・寄与度)  
(前年比、%)



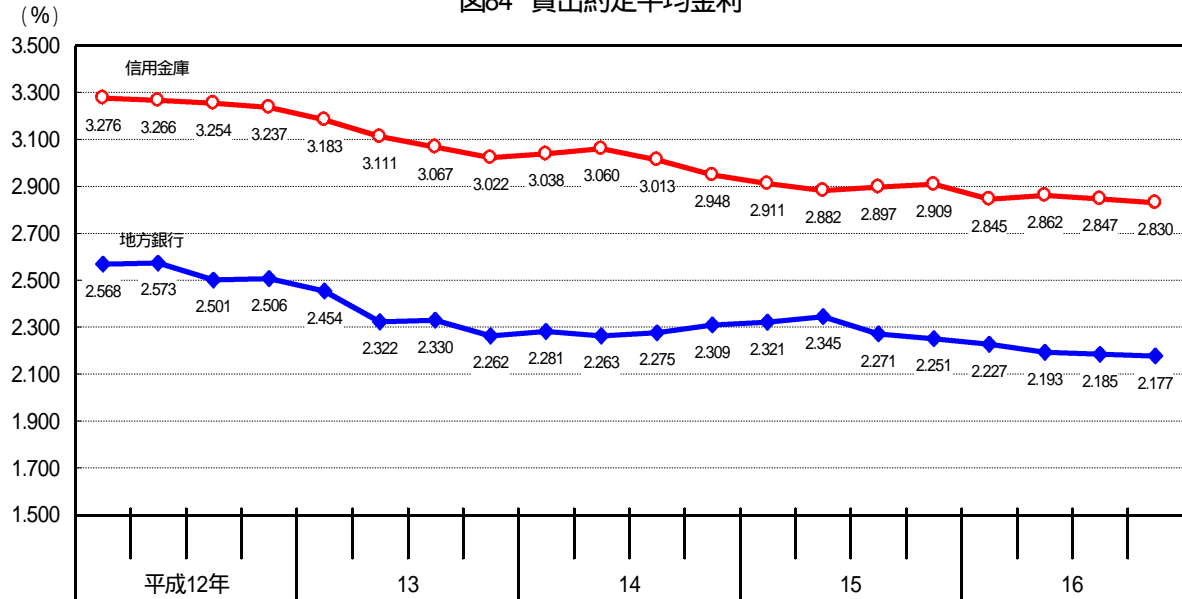
備考 日本銀行福島支店資料より作成

## (2) 貸出約定平均金利

本県経済に一部に厳しさが残る中、県内企業は積極的投資に慎重な姿勢を執り続けており、資金需要は低調に推移している。平成16年の貸出約定平均金利は、年末値で、地方銀行で2.177%（前年差0.074ポイント低下）、信用金庫で2.830%（同0.079ポイント低下）となり、緩やかな低下傾向で推移した（図84）。

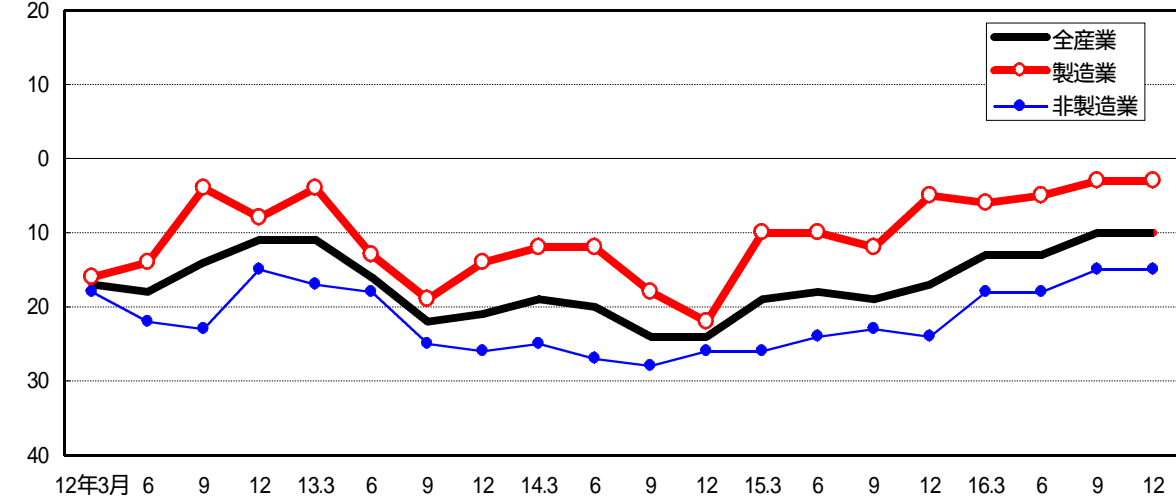
一方、日銀短期経済観測調査による貸出態度判断DIをみると（図85）、企業側からみた金融機関の貸出態度は製造業を中心に厳しさが徐々に弱まりつつあり、改善傾向で推移している。

図84 貸出約定平均金利



備考 日本銀行福島支店「福島県金融経済概況」より作成

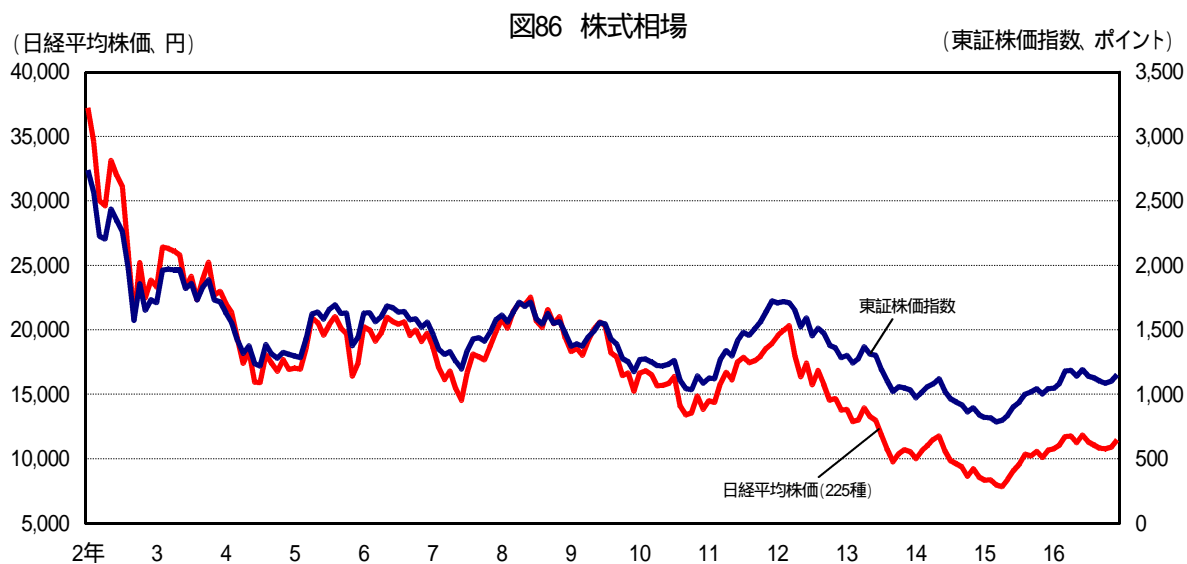
図85 貸出態度判断DI（緩い-厳しい）



備考 日本銀行福島支店「全国企業短期経済観測調査(福島県分)」より作成

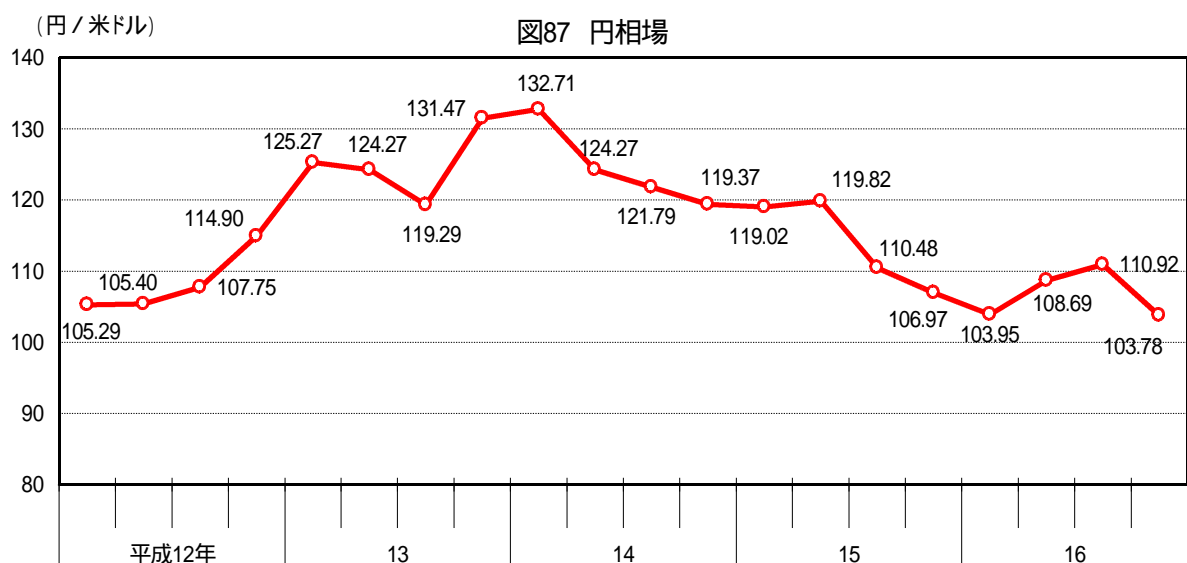
## 参考 株式市場相場と外国為替市場の円相場

平成 16 年の東証一部日経平均株価( 225 種)の推移をみると(図 86)、15 年 4 月には最安値 7,607 円 88 銭まで下落したものの、8 月には1万円台に回復し、その後 1 万円を上回って推移しており、16 年 12 月末には 11,488 円 76 銭となった。また、東証株価指数もほぼ同様の動きとなり、15 年 3 月末には 788.00 となった後、16 年 12 月末には 1149.63 と上昇した。



備考 1 日本銀行「主要経済指標」より作成  
2 数値はいずれも月末値である。

平成 16 年の東京外国為替市場の円相場(対米ドル終値)は(図 87)、4 月以降円安となり 1 ドル = 110 円前後で推移してきたが、10 月以降、幾分円高傾向となり、年末には 103 円 78 銭となった。



備考 1 日本銀行「経済統計月報」より作成  
2 値は期末値である。